

ライティングマニュアル



このマニュアルはライティングマニュアルということで、

- **記事を書く前の考え方**
- **リサーチ方法**
- **記事の書き方、まとめ方**

これら3ステップについて説明していきます。

記事の執筆が慣れていない場合は、はじめはこのマニュアルで説明する通り進めて慣れていってください。

1. 記事を書く前の考え方

基本的に、検索する人は何かしらの

- ・ 悩み
- ・ 疑問

を抱え、それを解決するべく Google や Yahoo! という検索エンジンを活用して解決策を探しています。

ですので、**ブログは訪問者の悩みや疑問を解決するコンテンツ（記事）**でなくてはならないのです。

例えば、下記のタイトルの場合

ネクタイの結び方と種類を紹介！新入社員が注意するべき点とは？

上記のタイトルで軸となるキーワードは「ネクタイ」になります。

ただ検索する人は何かしらの悩みや疑問を抱えて検索するため

「ネクタイ ○○」

「ネクタイ ○○ △△」

といったような2語3語で検索窓に打ち込んで検索します。

それを踏まえて、上記のタイトルで予想できる検索ワードをイメージします。

■ 予想される検索ワード

- ・ ネクタイ 結び方
- ・ ネクタイ 結び方 種類
- ・ ネクタイ 新入社員

ここまで考えたら次に、それぞれの検索ワードでの悩みや疑問を予想します。

■ 予想される悩みや疑問

- ・ ネクタイ 結び方
⇒ **ネクタイの結び方がわからないから知りたい**
- ・ ネクタイ 結び方 種類
⇒ **ネクタイの結び方の種類を知りたい**
- ・ ネクタイ 新入社員
⇒ **新入社員がネクタイをする場合、何に注意すべきかを知りたい**

ですから、先ほどのタイトルで記事を書く場合、上記3点の悩みや疑問を解決できる記事を書くべき、ということになるわけです。

このように、情報をリサーチする前に“タイトルから何を求められているか？”を考えるようにしましょう。

これは、記事を悩まず早く書くためには欠かせないステップになります。

2. リサーチ方法

訪問者は何を求めているのかを考えたら、次に解決策となる情報を集めます。

※既に知識がある場合は、答え合わせのつもりでリサーチしてみてください。

リサーチするときには一度、これから書く記事で予想される検索ワードを実際に検索窓に打ち込んで調べてみましょう。



そして、検索結果に出てくる記事を上から3サイトほどチェックしてみます。

チェックする際の項目は

- ・ どの程度のボリュームか？（だいたいの文字数）
- ・ その内容はわかりやすいか？（画像の使い方やまとめ方）
- ・ 自分が知らない情報はるか？（情報集め）

ボリュームをチェックする意味は、検索エンジンで上位表示するためには記事のボリュームが一つの要因となるからです。

なので、それ以上の記事を仕上げることで上位表示される可能性が上がります。

内容のわかりやすさをチェックする意味は、わかりにくければわかりやすくまとめることにより、訪問者のためになりますよね？

わかりやすければ、それを真似することにより、記事の全体像を書く前にイメージすることができ、且つ良い記事を仕上げることができます。

情報をチェックする意味は、これから記事を書くための材料を揃えるためで、知らない情報があれば、それを蓄積することにより、スムーズに記事を仕上げることができます。

解決策が上手く見つからない場合は Yahoo!知恵袋を活用します。

⇒ <http://chiebukuro.yahoo.co.jp/>

Yahoo 知恵袋で検索をすることで、解決策をより簡単に見つけられることが多くありますので、こちらもチェックしてみるといいでしょう。

さらに、ドラマや映画、本、漫画、アニメなど**感想や評価の情報が欲しい場合は、Yahoo!ニュースのコメントや2chまとめの書き込みなどをチェックする**といいです。

このように、ほしい情報によってリサーチする場所を変えることにより、効率よく情報を集めることもできます。

3. 記事の書き方、まとめ方

訪問者が求めていることを予想し、それらを解決するための情報を集めたら、記事の執筆を行っていきます。

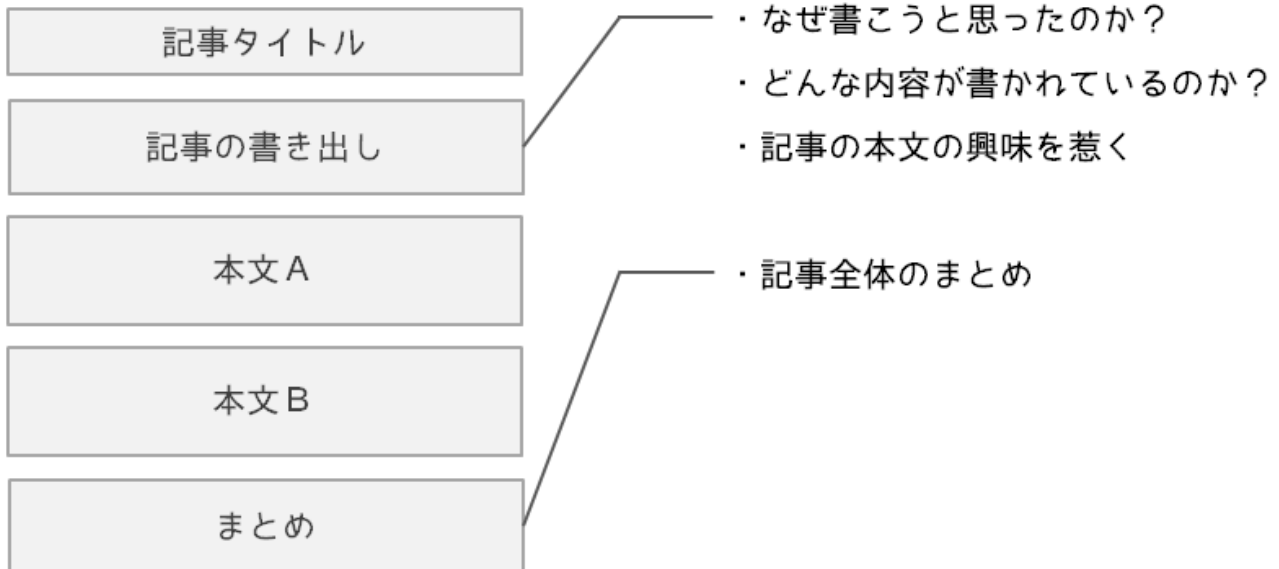
その際、いくつかのルールと注意点があります。

- 1. 記事の構成に注意する**
- 2. 同じ語尾が連続しないようにする**
- 3. 結論、理由、具体例、再度結論の流れ**
- 4. 句読点を少なすぎず、多すぎず使う**
- 5. 接続語をしっかりと使う**
- 6. You（あなた）メッセージで記事を書く**
- 7. 複数行の文章をなるべく連続させない**
- 8. 読みやすいように箇条書きなど工夫する**
- 9. 文字数を稼ぐための余計な文章は使わない**
- 10. 訪問者に共感してあげる**
- 11. キーワードの出現頻度を自然に上げる**

それでは、それぞれ簡単に説明します。

1. 記事の構成に注意する

記事を書くときは下記の構成で組み立てていきます。



このように書き出しから始まり、本文、そしてまとめ、という流れで記事を組み立てていきます。

例. ネクタイの結び方と種類を紹介！新入社員が注意すべき点とは？

書き出し (ネクタイの結び方で悩んでいませんか？)

本文 A (ネクタイの結び方の種類)

本文 B (それぞれの結び方)

本文 C (新入社員や社会人が注意する点)

まとめ (以上で終わります、ネクタイをしっかり結べるだけで～～)

このような流れになります。

※本文～まとめまでは小見出しを付けるようにするとわかりやすくなります。

2. 同じ語尾が連続しないようにする

文章を読むとき、声に出して読むことはしないですが、心のなかで声に出して読んでいるのではないのでしょうか？

ですので、声に出して読んでも不自然にならない文章を書くことが大事になり、読みやすい文章の1つが語尾になります。

気がつくと「～です」が連続したり、「～ます」「～ね」が連続したりと、同じ語尾が連続してしまう文章になってしまうケースがありますので、必ず最後のチェック時には声に出して意識しながら読み返すようにしてみてください。

※「思います」が連続してしまうと信ぴょう性がかけますので注意です。

3. 結論、理由、具体例、再度結論の流れ

わかりやすい記事を書くためには、結論、理由、具体例、再度結論の流れで文章を組み立てるといいです。

例

結論：ネクタイの結び方は3種類あります。

理由：そして、それぞれ場面によって使い分けることで、できるビジネスマンにみてもらうことができるでしょう。

具体例：それぞれの具体的な結び方はこのように結びます。

再度結論：これら3種類の結び方をマスターして、カッコいいできるビジネスマンになりましょう。

4. 句読点を少なすぎず、多すぎず使う

句読点が少ないと読むのが疲れ、多すぎると読みにくい文章になります。

また、文章をつなげすぎても読むのに疲れてしまいますので、適度に「。」と「、」を使い、読みやすい文章にしましょう。

悪い例（少ない場合）

ネクタイの結び方は3種類ありますがそれぞれ場面によって使い分けることにより上司や取引先の相手に好印象を与えることができますのでぜひこの記事でネクタイの結び方をマスターしてください。

悪い例（多い場合）

ネクタイの結び方は、3種類ありますが、それぞれ、場面によって、使い分けることにより、上司や、取引先の相手に、好印象を与えることができますので、この記事で、ネクタイの結び方を、マスターしてください。

良い例

ネクタイの結び方は3種類あります。

それぞれ場面によって使いわけることにより、上司や取引先の相手に好印象を与えることができます。

ですので、この記事でネクタイの結び方をマスターしてください。

「。」で文章を区切り、「、」で読みやすくしましょう。

5. 接続語をしっかりと使う

「そして」「なので」「ですので」「だから」「そのため」「しかし」など、前の文章から接続語を使うことで、より読みやすい文章になりますので、適度に接続語を使うようにしましょう。

6. You（あなた）メッセージで記事を書く

文章を読んでくれる人は大勢いますが、訪問者からすると読んでいるのは自分一人です。

なのに「皆さん」など複数の相手に書いているような文章にすると、自分のことではないと相手は思ってしまうかもしれません。

ですので 「あなた」のように一人に対して届ける意識で書いてみましょう。

7. 複数行の文章をなるべく連続させない

文章は改行することによって読みやすくなります。

小説などをイメージしてみてもいいのですが、1ページ目が文字で埋まっていたら「うわ」と敬遠してしまいませんか？

また、複数行（2行3行）の文章が連続すると、こちらもまた読むのに疲れて
しまいますので、**複数行の次は1行文**というのを心がけてみてください。

（絶対ではありません）

悪い例

この記事ではネクタイの結び方や種類についてと、新入社員が注意すべき点
について説明していきます（**2行**）

ネクタイの結び方はさまざまですが、場面によって使い分けたり、また結びや
すい方法を覚えることで忙しい朝に慌てる心配も無くなりますし、サッと結ぶ
ことができれば出来る社会人のように見えますよね（**3行**）

良い例

この記事ではネクタイの結び方や種類についてと、新入社員が注意すべき点
について説明していきます（**2行**）

ネクタイの結び方はさまざまです。（**1行**）

そのネクタイの結び方の種類の中から場面によって使い分けたり、また結びや
すい方法を覚えることで忙しい朝に慌てる心配も無くなりますし、サッと結ぶ
ことができれば出来る社会人のように見えますよね（**3行**）

8. 読みやすいように箇条書きなど工夫する

ステップを伝えるときや種類を伝えるとき、箇条書きで伝えることによりわかりやすくなります。

さらに文章の読みやすさも一気に良くなります。

なので、箇条書きを使える場面では箇条書きを使うよう心がけましょう。

9. 文字数を稼ぐための余計な文章は使わない

感想や意見を追加するのはいいのですが、無駄な文章などは意味がなく、最悪の場合 Google から低い評価を与えられることもあります。

読み手で考えた場合、やはり一番欲しいのは関連した情報ですよね。

ですので、文字数を稼ぐための余計な文章は使わないようにしましょう。

10. 訪問者に共感してあげる

訪問者の悩みや疑問に共感してあげることにより、読み手を一気に文章に惹きこむことができます。

さらに、書き出しで悩んでしまうこともあるかもしれませんが、

『冒頭では読み手に共感する文章』

という1つの引き出しがあれば、記事を書くときも楽になります。

ですので、1つのテクニックとして使ってみてください。(全ての記事で共感の文章を冒頭で持ってくるとう不自然ですので注意です。)

1 1. キーワードの出現頻度を自然に上げる

タイトルに入っているキーワード、またメインキーワードの関連キーワードの記事の中に自然に散りばめるようにしましょう。

例えば下記のタイトルの記事であれば

ネクタイの結び方と種類を紹介！新入社員が注意すべき点とは？

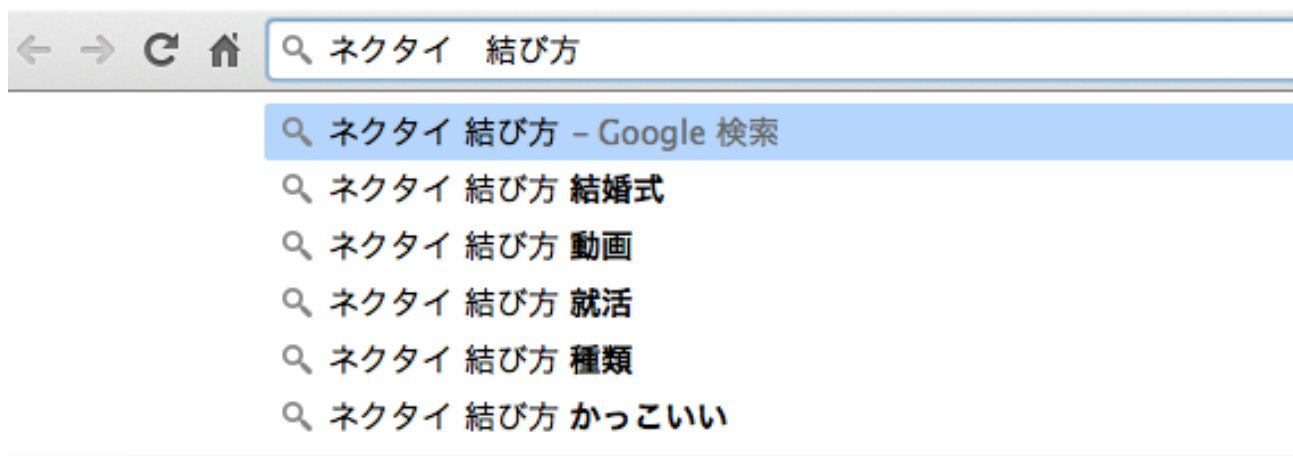
タイトルに入っているキーワード

- ・ ネクタイ
- ・ 結び方
- ・ 種類
- ・ 新入社員
- ・ 注意

「ネクタイ」の関連キーワード

- ・ 結婚式
- ・ 葬式
- ・ 2次会
- ・ カッコいい
- ・ 就活
- ・ ブランド
- ・ 長さ

関連キーワードはGoogleなどの検索窓に打ち込んだときに表示されますので参考にしてみてください。



以上11点のルールと注意点を守って記事を書くようにお願いします。

次にどうしても文字数が指定した数字を超えない場合について説明します。

指定した文字数が超えない場合

リサーチをして情報を集め、キーワードの出現回数を気にしながら記事を書いた結果、どうしても指定された文字数を超えない場合

1. 訪問者が他に欲しいと思う情報はないか？
2. ネタの関連した情報はないか？

これら2点を改めて考えてみるようにしてみてください。

他にどういうことを知りたいだろう？悩んでいるだろう？と考えることで、新たな情報を追加することができるようになります。

もし考えても見つからない場合はYahoo!知恵袋を参考にするのもいいです。

記事の書き出しやまとめに文章を追加するだけでも、だいぶ文字数は増えますので、**書き出しやまとめがあっさりしすぎていないかの確認**もしましょう。

ここまでいろいろとルールや注意点などを説明させて頂きましたが、一番は

訪問者が何を求めており、それを解決できる記事になっているかどうか

これが大切になります。

ですので、訪問者の気持ちになって記事を書くよう、お願い致します。